

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

地域社会の要請に応えながら激しく変化する社会に柔軟に対応できる力を育むとともに、社会の有為な調和のとれた人間の育成に努める。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、地域社会の現状を総合的に学習し、自己の在り方生き方を考える。また、課題を発見し、よりよく解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域社会の現状を探究する過程において、問題の解決に必要な知識・技能を身につけるとともに、地域社会の良さを発見する。
- (2) 地域社会の現状と自身の関わりから問題を発見し、調べた情報の分析・結論を論理的にまとめ表現する力を身につける。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、地域社会に貢献しようとする態度を養う。

総合的な探究の時間の学習評価

- 地域社会の現状について理解を深め、地域の良さや課題を発見する【知識・技術】
- 適切な方法で情報を収集・分析している【知識・技術】
- 地域の課題の背景にある問題や課題の解決に向けた取り組みが、自分自身の生活とつながっていることを理解している【知識・技術】
- 課題の解決に向けて、どのような情報をどのような手法で収集したらよいかを理解している【思考・判断・表現】
- 収集した情報を、正しく整理・分析することができる。また、受け手側の立場を意識した見やすく分かりやすい発表を心がけている【思考・判断・表現】
- 自他のよさを認め、多様な意見を受け入れながら、地域に貢献しようとしている【学びに向かう力、人間性等】
- 未来に向かって継続的に社会に関わろうとしている【学びに向かう力、人間性等】

生徒の実態

- 素直で人懐っこく、純朴な生徒が多い
- 進路状況は大学・短大が約15%、専門学校が約40%、就職が約40%となっている。進路を意識した多くの資格取得に取り組んでいる
- 生徒数が少ないながらも部活動が盛んである

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

個別面談、教員間の情報共有、外部の関係機関との連携などを進めながら指導していく

目指す生徒の姿

- 地域や社会における諸問題を発見し、解決に向けて考察し、表現する過程の中で、コミュニケーション能力を育成し、郷土愛を育て、変化する社会に柔軟に対応できる力を育成する

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

- 1 探究課題
 - 「いしおか 未来に続くまちづくり」（総合的探究の時間）
 - 「経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の研究」（課題研究）
- 2 探究課題を通して育成を目指す資質・能力
 - (1) ビジネス（地域）に関する課題を発見し、解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う
 - (2) 自他のよさを認め、多様な意見を受け入れながら地域に貢献しようとする姿勢を養う

学習活動、指導方法等

- 1 学習内容
 - (1) 総合的な探究の時間
 - 地域探究
 - 地域の諸問題を発見する
 - (2) 課題研究
 - 調査研究
 - 実地調査、発表資料の作成、研究発表大会への準備・出場・反省・再検討、調査の継続
 - 接客実習
 - ビジネスマナーへの学習、面接指導、各種イベントへの参加
 - 商品開発
 - 商品開発アイデア検討、商品製作、各種イベントでの販売
 - ものづくり
 - 材料収集、制作活動、文化祭での展示
 - 各講座共通
 - 中間報告書の作成、研究発表会
- 2 指導方法
 - (1) 地域の課題解決に向けて、どのような情報をどのような手法で収集・分析したら良いかを助言する。
 - (2) 受け手側の立場を意識した見やすく分かりやすい発表になるように助言する。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 運営委員会（毎月1回）・・・授業担当者1名が参加し、授業計画や進捗状況などの情報を共有している。
- 授業担当者会議（毎週火曜日）・・・授業担当者と学年団で指導方法や評価規準、進捗状況などについて情報交換している。
- 外部機関との連携・・・石岡市、茨城県、茨城県消費生活センターなど